

広島市植物公園 見どころ案内

2023年7月20日
通巻第590号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (6/17~9/18)
**特別企画展「牧野富太郎と広島」
+体験コーナー**
- ◇展示温室 (7/20~8/15)
世界の食虫植物展
- ◇大テント前、
スイレン温室など (7/8~9/24)
盛夏のスイレン展

キレンゲショウマ (アジサイ科)

本州、四国、九州の標高が高い冷涼な地域に自生する大型の草本植物。小説「天涯の花」で紹介されたことで人気のある山野草です。ナスのような蕾で黄色い花を咲かせます。

ウツボカズラ (ウツボカズラ科)

つる性の食虫植物。膨らんだつぼ型の捕虫葉が特徴。大きなもの、丸いものなど、様々な形の珍しい園芸品種を集めました。

ハス (ハス科)

インド原産の多年生水草。スイレンとの違いは、水面より高く出る葉があること。ハスの葉シャワーの展示も必見。

サガリバナ (サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯のマンग्रoup植物。花は夜に咲き、翌朝には落花します。曇天時には午前中まで花が残っていることも。

★大温室で見頃の花
サガリバナ、ヒメノカリス、タコノキ(実)、オウコチョウ、カエンボク、デビルフラワー、コチョウラン、ミカドアナナス、[カカオ、ソーセイノキ、コショウ、タマゴノキ、ホワイトサボテ、バナナ、ココヤシ、テリハバンジロウ、レンブ、コーヒー(以上は実)]、トケイソウ、マツリカ、ハイビスカス、チャボイランイランノキ、アリアケカズラ

センノウ (ナデシコ科)

中国原産の多年草。室町初期に渡来したとされ、京都の仙翁寺(せんのうじ)で栽培されていたことに因みます。

ノリウツギ (アジサイ科)

夏に大きな円錐形の花を咲かせるアジサイのなかま。園芸品種は「ピラミッドアジサイ」と呼ばれることもあります。

ヒマワリの丘

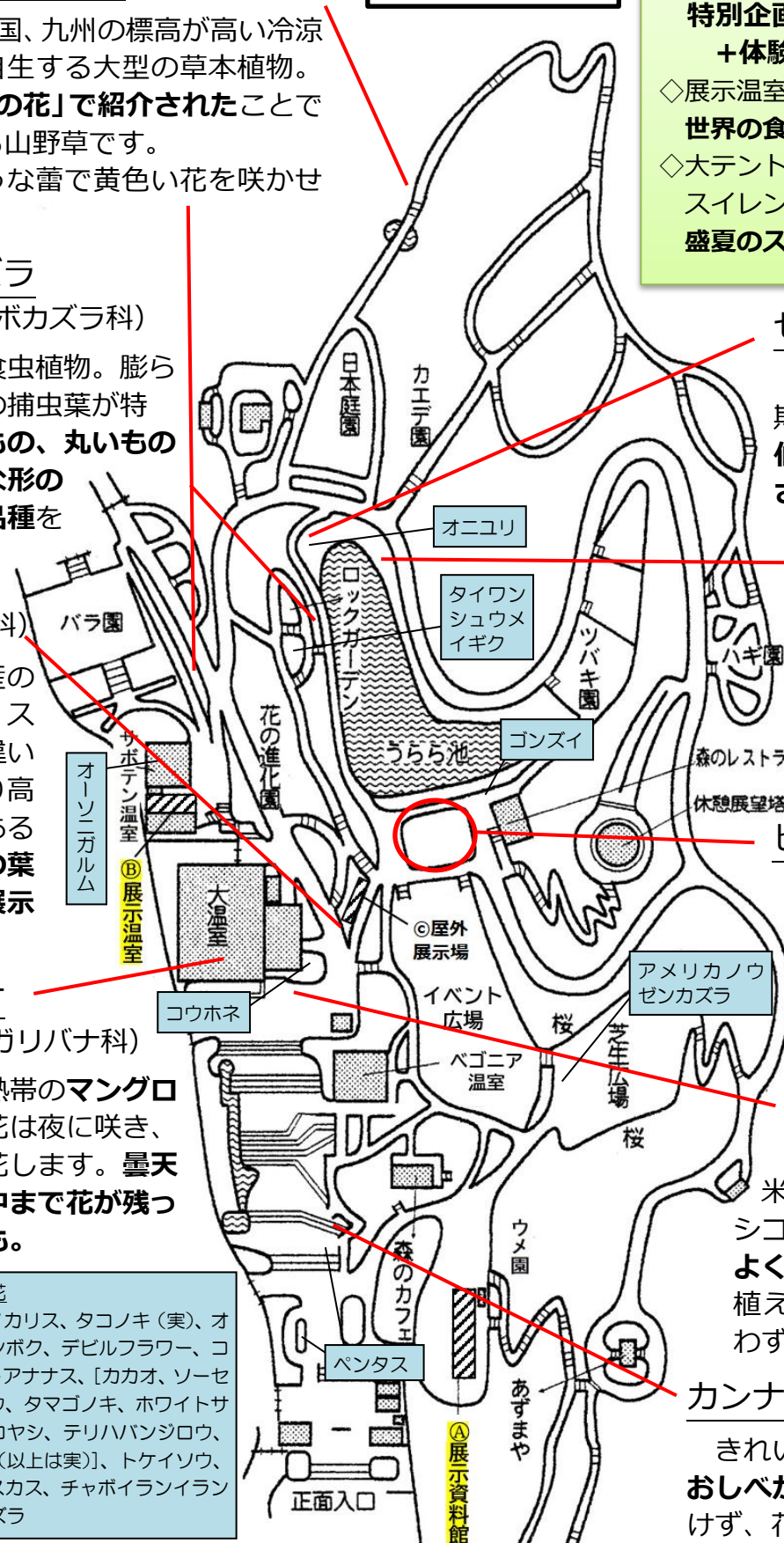
約1,400株のヒマワリ“サンフィニティ”が咲き始めました。小ぶりな花が次々とたくさん咲き、夏の間長く楽しめます。

ワシントンヤシモドキ (ヤシ科)

米国カリフォルニア州・メキシコ北部原産。見上げると花がよく咲いています。開園当初に植えた植物で、当時は樹高がわずか3m程度でした。

カンナ (カンナ科)

きれいな花びらに見えるのは、おしべが変化したもの。暑さに負けず、花を咲かせてくれます。



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 7/25、8/5、8/22 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀